

## 平成 27 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	全国健康保険協会	職名	保健師	助成金額	350,000 円
氏名	佐藤 繭子	印	メール アドレス mayuko.sarahsato@gmail.com		
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）					
<p>「青年期女性の自己対象化とライフコースを見通した健康行動との関連」</p> <p>青年期女性の健康は、現在だけでなく、また将来の健康だけでなく、次世代の健康にも影響を与える。女性は、思春期から妊娠・出産期を含む性成熟期、更年期に至るまで、障害を通して心身ともに大きな変化を遂げる。しかし、男性中心の消費主義社会では、望まれる女性像として今現在の外見が重視され、それに沿うような情報やサービスが提供され、将来の生き方について主体的に意思決定できないことを助長するような環境があると考えられる。そのような状況が、若年女性の情報の関心と、将来を見通した健康に関する知識不足や健康行動がとれないことと関連していないかを明らかにすることを目的とし、研究を行った。</p>					
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>頂いた助成金は、以下のように使用した。</p> <p>① 本研究では、横断的自記式質問紙法によりウェブモニター調査を行った。ウェブモニター調査とは、確率抽出法で対象者のサンプリングを行い、あらかじめ調査会社に登録しているモニターに対し、調査の回答を依頼するものである。本調査は、偏りが少なく、できるだけ多様な対象者の実態を把握したいため、この調査方法が最適と考えた。なお、調査にあたっては、登録者数が 300 万人程度の大規模なモニターをもつ調査会社を選定した。（調査費用 324,108 円を使用）</p> <p>② 今年 10 月に実施される、第 75 回日本公衆衛生学会総会でポスター発表を予定している。（学会入会費 8,000 円、学会参加費 11,000 円）「若年女性の外見を偏重する態度としての自己対象化と将来を見通した健康行動との関連」という演題名で登録済みである。今後、論文投稿も予定している。</p>					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		